

問題

二〇二五年度 入学試験問題

(三学部共通) 一般選抜 I期1日目

国語

時間 五〇分

注意事項

- 一. 試験開始の「合図」があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
- 二. 「受験票」は、机の上の受験番号票と並べて置いてください。
- 三. 試験開始・試験終了は、試験監督者の「始め」、「止め」の合図に従ってください。
- 四. この問題冊子のページおよび解答科目は、左の表のとおりです。

科目	問題ページ	備考
国語	1～11	

- 五. 解答用紙が別にあります。
- 六. 「始め」の合図後直ちに、解答用紙に受験番号のみを記入してください。
- 七. 試験室に入室してから試験終了までは退室を認めません。
- 八. 試験中に質問のある場合、または気分が悪くなった場合等には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- 九. 「止め」の合図後直ちに、筆記を止めてください。
- 十. 退室は監督者の指示に従ってください。「受験票」は持ち帰ってください。

「I」 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

「ポピュリズム」というのは定義のむずかしい言葉である。政治用語として頻用されているが、それは必ずしもその語の定義についての集团的合意が成立していることを意味しない。

^{注1}術語の定義は、ふつう同一カテゴリーに属する他の語との差異に基づいて理解される。だから、「民主主義」の定義ははつきりしている。democracyは誰が主権者であるかによる分類法であるから、これの対義語は「王政 (monarchy)」や「貴族政 (aristocracy)」や「寡頭政 (oligarchy)」や「無政府状態 (anarchy)」などである。だから、誰かが「民主主義を^①ハイゼツせよ」と主張したとすれば、その人は代替するどれかの政体の支持者であることを明らかにしなければならない。

だが、「ポピュリズム (populism)」はそうはゆかない。というのは、ポピュリズムについては、^(a)その対義語が何であるかについての合意がまだ存在しないからである。

(中略)

では、ポピュリズムという^(b)「一意的な定義が定まらない語によって指称されている」「新しい事態」とは何なのか？

私見によれば、ポピュリズムとは「今さえよければ、自分さえよければ、それでいい」という考え方をする人たちが主人公になった歴史的過程のことである。

個人的な定義だから「それは違う」と口を尖^{とが}らす人がいるかも知れないけれど、別にみなさんにこの意味で使ってくれと言っているわけではない。

「今さえよければいい」というのは^(c)「時間意識の縮減のことである」。平たく言えば「サル化」のことである。「朝三暮四^(d)」のあのサルである。

^{注1}春秋時代の宋^{そう}にサルを飼う人がいた。朝夕四粒ずつのトチの実をサルたちに給餌していたが、手元不如意になって、コストカットを迫られた。そこでサルたちに「朝は三粒、夕に四粒ではどうか」と提案した。^(d)するとサルたちは激怒した。「では、朝は四粒、夕に三粒ではどうか」と提案するとサルたちは大喜びした。

このサルたちは、未来の自分が抱え込むことになる^②「ソンシツやリスクは「他人ごと」だと思っている」。その点では^(e)「わが「当期利益至上主義」者に酷似している」。「こんなことを続けていると、いつか大変なことになる」とわかっていながら、「大変なこと」が起きた後の未来の自分に自己同一性を感じることができない人間だけが「こんなこと」をだらだら続けることが

できる。その意味では、データをごまかしたり、仕様を変えたり、決算を^③フンシヨクしたり、統計をごまかしたり、年金を溶かしたりしている人たちは「朝三暮四」のサルとよく似ている。

「朝三暮四」は自己同一性を未来に延長することに困難を感じる時間意識の未成熟（今さえよければ、それでいい）^①のことであるが、「自分さえよければ、他人のことはどうでもいい」というのは、自己同一性の空間的な縮減のことである。

集団の成員のうちで、自分と宗教が違う、生活習慣が違う、政治的意見が違う人々を「外国人」と称して^④排除することに特段の心理的抵抗を感じない人がいる。「同国人」であつても、幼児や老人や病人や障害者を「生産性がない連中」と言つて切り捨てることができる人がいる。彼らは、自分がかつて幼児であつたことを忘れ、いずれ老人になることに気づかず、高い確率で病を得、障害を負う可能性を想定してないし、自分が何かのはずみで故郷を喪^{つひな}い、（１）ことなど想像したこともない。見知らぬ土地を、飢え、渴いて、さすらい、やむにやまれず人の家の扉を叩いたときに、顔をしかめて「外国人にやる飯はないよ」と言われたときにどんな気分になるものかを想像したことがない。

自分と立場や生活のしかたや信教が違つていても、同じ集団を形成している以上、「なかま」として遇してくれて、飢えていればご飯を与えてくれ、渴いていれば水を飲ませてくれ、寝るところがなければ宿を提供することを「当然」だと思つている人たち「ばかり」で形成されている社会で暮らしている方が、そうでない社会に暮らすよりも、「私」が生き延びられる確率は高い。噛み砕いて言えば、それだけの話である。

「倫理」というのは別段それほどややこしいものではない。「倫」の原義は「なかま、ともがら」である。だから「倫理」とは「他者とともに生きるための理法」のことである。他者ともにあるときに、どういうルールに従えばいいのか。別に難しい話ではない。「この世の人間たちがみんな自分のような人間であると自己利益が増大するかどうか」を自らに問えばよいのである。

例えば、渋滞している高速道路で走行禁止の路肩を走るドライバーは他のドライバーたちが遵法的にじつと渋滞に耐えているときにのみ利益を得ることができる。全員がわれ先に路肩を走り出したら、彼の利益は失われる。だから、彼は「自分以外のすべての人間が遵法的であり、自分だけがそうでないこと」を、（２）、「自分のようにふるまう人間が他にいない世界」を願うようになる。

これが「非倫理的」ということである。

これはある種の「（３）」として機能する。だって「私のような人間がこの世に存在しま

せんように」と熱心に祈っているわけなんだから。この「3」は弱い酸のようにゆつくり、でも確実に彼の生命力を殺いでゆくことになる。祈りの力を^⑤侮^こつてはならない。

もう一度言うが、倫理というのは別に難しいことではない。今ここにはいない未来の自分を、あるいは過去の自分を、あるいは「そうであったかもしれない自分」を、「そうなるかもしれない自分」を「自分の変容態」として、受け容れることである。そのようなすべての「自分たち」に向かつて、「あなたがたは存在する。存在する権利がある。存在し続けることを私は願う」という祝福を贈ることである。

倫理的な人というのが「サル」の対義語である。

だから、ポピュリズムの対義語があるとすれば、それは「倫理」である。私はそう思う。たぶん、同意してくれる人はほとんどいないと思うけれど、私はそう思う。

自己同一性が病的に^⑥萎縮^{しゆく}して、「今さえよければ、自分さえよければ、それでいい」と思い込む人たちが多数派を占め、政治経済や学術メディアでそういう連中が大きな顔をしている歴史的趨勢^{すうせい}のことを私は「サル化」と呼ぶ。

「サル化」がこの先どこまで進むのかは、私にはよくわからない。けれども、サル化がさらに^{注三}亢進^{かうしん}すると、「朝三暮四」を通り越して、ついには「朝七暮^(g)ゼロ」まで進んでしまう。論理的にはそうなる。そのときにはサルたちはみんな夕方になると飢え死にしてしまうので、そのときにポピュリズムも終わるのである。

哀^{かな}しい話だ。

「サルはいやだ、人間になりたい」という人々がまた戻ってくる日が来るのだろうか。来るとよいのだが。

(内田樹『サル化する世界』より。ただし、一部改変してある。)

注一 術語——学術語。専門用語。

注二 手元不如意——家計が苦しく金がないこと。

注三 亢進——高ぶり進むこと。

問一 傍線①・②・③のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線④・⑤・⑥の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問三 傍線(a)「その対義語が何であるかについての合意がまだ存在しない」と、なぜポピュリズムの定義が定まっているとは言えないのか。「くから。」に続く形で文章中から三十八字で探し、はじめと終わりの五字を記入しなさい。なお、句読点・記号も字数に数える。

問四 傍線(b)「一意的」の意味は次のうちどれか、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア ただ一つの意味や値に帰着した状態であること。
- イ ただ一つの意見を尊重している状態であること。
- ウ 一番良いと思われる意義を見いだした状態であること。
- エ 一見して正しいとわかる意向を取り入れた状態であること。
- オ たった一人の意思もないがしろにしない状態であること。

問五 傍線(c)「時間意識の縮減」とはどういうことか、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 時間を守る感覚が薄れ、時間にルーズになること。
- イ 時間を短縮することによって一生懸命になること。
- ウ 時間の意識が鈍くなり、先々のことを考えられなくなる。
- エ 時間に鈍感になり、過去と未来が混乱してしまうこと。
- オ 時間経過の感覚が衰え、同じ時間なのに短く感じる。

問六 傍線(d)「するとサルたちは激怒した」を単語に区切ったものとして最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア する／と／サルたち／は／激怒／した
- イ すると／サルたち／は／激怒／した
- ウ すると／サルたち／は／激怒／し／た
- エ する／と／サルたち／は／激怒し／た
- オ すると／サルたち／は／激怒し／た

問七 傍線(e)「わが『当期利益至上主義』者」とは、筆者のどのような意図を表したもののか、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 近代になって、ようやくわが国でもポピュリズムが認められるようになったことに
対する安堵感^{あんど}。

イ 現代社会でポピュリズムが次第に市民権を得てしまったことに対する皮肉をまじえた危機感。

ウ 現代のわが国においても、春秋時代の宋における「朝三暮四」にみられたような現実逃避があるという指摘と批判。

エ 「今さえ、自分さえよければそれでいい」という考え方をする人たちがわが国のポピュリズムを動かしていることに対する悲壮感。

オ ポピュリズムをはき違えた政治家や実力者がわたしたちの生きる社会を動かしていることに対する落胆。

問八 傍線(f)「自己同一性の空間的な縮減」の例として適さないものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 自分と宗教や政治的意見が違う人々を「外国人」と称して排除することに心理的抵抗を感じないこと。

イ 幼児や老人や病人や障害者を「生産性がない連中」と言って切り捨てることができること。

ウ 生活習慣や日常的な感覚が自分とは異なる人々を、平然と異端視したり蔑視したりできること。

エ 見知らぬ土地を、飢え、渴いて、さすらい、やむにやまれず人の家の扉を叩くことなど考えもしないままに生涯を終えたいと願っていること。

オ 「なかま」かもしれないと頼った人に、「外国人にやる飯はないよ」と顔をしかめて言われたときの自分の気持ちを想像したことがないこと。

問九 空欄(1)に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 異郷に思い切って移住する イ 異邦をさすらう身になる

ウ 異郷の片田舎に定住する エ 異質な人々と共に暮らす

オ 異邦の人々に助けられる

問十 空欄（ 2 ）に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア また イ 例えば ウ だが エ ただし オ つまり

問十一 空欄（ 3 ）二か所には同じ語が入る。（ 3 ）に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 祈り イ 願い ウ 呪い エ 渴き オ 殺し

問十二 傍線(ɡ)「朝七暮ゼロ」とはどのような状態を表しているか、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 飢え死にしそうなどころまでコストカットが進んだ状態。
 イ 政治経済や学術メディアでサル化が進行している状態。
 ウ ポピュリズムがその役割を十分果たしている状態。
 エ 倫理がさびれ、論理ばかりが強くなった状態。
 オ 自己同一性の縮減が限りなく進んだ状態。

「Ⅱ」 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

「お前」は御前のことで、貴い相手を名前で呼ぶのが恐れ多いので、その代わりに場所を示している。「貴様」は罵倒語だが、漢字を見ればわかるように、もともとは尊敬語だった。それが時代とともに敬意が通減し（徐々に減っていつて）、とうとう^(a)マイナスになってしまったのだ。なぜこんなことになるかというと、多用しているうちに言葉がコモディティ化（平凡化）し、敬意が感じられなくなるからだ。手当たり次第に「貴様」を使っていたら、地位が高いのは誰で、そうでないのは誰なのかわからなくなってしまふ。こうして、敬意がどんどんすり減ってしまうのだ。

英語では「わたし」はI、「あなた」はYouしかないが、^(b)日本語ではその場の状況に合わせたさまざまな言い方がある。世界の言語分布のなかではこれは両極端で、英語はグローバル言語になる過程で誰でもわかるシンプルな用法が好まれるようになり（英語にもThouのような「あなた」を指す言葉があったが、古語として廃れた）、日本語はドメスティックな世界なかで、お互いの微妙な距離を調整するために異形の進化を遂げた。

興味深いのは、「おのれ」「われ」が相手を罵倒する言葉になっていることだ。自分自身を罵ることが相手を罵ることになるというのが、他の言語にもあるかはわからないが、かなり変わった言葉の使い方であることは間違いないだろう。これは、^(c)日本社会では自他の区別がいまいで、相手を自分の分身のように感じているからではないだろうか。

敬意通減の法則の典型が、若者のあいだで急速に広まった「（1）」だ。「いいですか」↓「よろしいですか」↓「よろしいでしょうか」の順で敬意を高めたものの、それもすり減ってしまったため、より相手と距離を置き、敬意を示すために過去形を加えたのだろう。目の前の相手の意図を過去形で質問するのは、^(d)「ムジユン」しているが、敬語の原理（相手と距離をとればとるほど敬意が高まる）からは「正しい」「進化」なのだ。

最近、気になるのは、若者が「かしこまりました」を多用するようになったことだ。ネットのビジネス敬語の解説で、目上の者に「了解しました」を使うのは⁽²⁾「ゴヨウだ」とされているからようだ。そうすると「承知しました」か「かしこまりました」になるが、これらはいずれも目下の者が目上の者に使う言葉だ。

このように日本語では、身分の上下がつねに問題になる。ビジネス敬語における「目上／目下」は会社の役職などを使っているのだろうが、そこには「部長は平社員よりも人間として尊い」という⁽³⁾含意がある。これは明らかに、「すべてのひとは平等」というリベラリズムの原則に反している。

日本語でも「^(e)敬語の民主化」が進んでいるといわれる。役職にかかわらず「さん」づけで

呼ぶのはその流れだが、その一方で「かしこまりました」のように、時代に逆行するような敬語が広まってもいる（私が若い頃は、「かしこまりました」は時代劇に出てくる言葉で、実際に使うなど考えられなかった）。カスタマーハラスメント（カスハラ）が社会問題になっているのも、過剰な敬語によって、客が自分のことを「人間として尊い」と勘違いするからではないだろうか。

すべての社会で、不用意に相手に触れることはタブー（禁忌）とされている。これには物理的な接触だけでなく、パーソナルスペース（私的空間）に許可なく踏み込むことも含まれる。心理的な縄張りのことで、相手との身分のちがいが大きければ大きいほど距離も遠くなる。

それに加えて、高貴な者を「見る」ことや「話しかける」こともタブーとされている。これは、視線や言葉によって相手に触れるからだ。

立食パーティを観察していると、女同士は顔を向き合って談笑しているのに、男同士は45度の角度で並んで立ち、（2）ように話しているのをよく見かけるだろう。これはタブーに性差があるからで、男同士が（3）と攻撃の合図になってしまう——不良のケンカは「ガンをつけた」ことで始まる。

男が女に／女が男に（4）と、性的な誘いの合図に解されるが、これは視線によって手に触れるからだ。目からなにかの光線が出ているわけではなく、明らかに物理法則に反しているが、「目ぢからが強い」「視線が痛い」のような表現はどの社会でもごくふつうに使われるだろう。

より興味深いのは、相手を名指す（言葉によって触れる）こともタブーとされていることだ。^(f)ユダヤの神には名前がなく、神を名づけることや、その名を唱えることは^(g)きびしく禁じられてきた。

直接的に語りかけることは、相手のパーソナルスペースへの^(h)シンパンで、⁽ⁱ⁾無礼な行為とされる。ハンカチを落としたのを見かけて「すみません」と声をかけるのは、「あなた」と呼びかけるのが無礼に感じられるからだ。謝罪の言葉が使われるのは、「あなたに触れて申し訳ありません」の意味が込められている（英語では「Excuse me」だが、カジュアル化が進んだ現代では、たんに「Hey」と声をかけるだろう）。

逆に、言葉で触れ合うことで親しさを示すこともできる。ビジネスで相手の言葉を^(j)遮るのは無礼だが、恋人や友人同士の会話では、合いの手を入れたり、^(k)唱和したり、遮ったりすることが^(l)多いほど親密度が高くなる（言葉でじゃれあうことは「共感のオーバーラップ」と呼ばれる）。

日本語のさらなる特徴は、ほとんどの会話が、二人称（あなた）なしで成立することだ。こ

れは、できるだけ相手に触れないようにするために、それとともに、一人称（わたし）が「俺」「ぼく」「あたし」「わたし」「わたくし」のようにTPOに合わせて使い分けられるだけでなく、通常の会話ではあまり使われなくなった（「わたしは」とあえていうと、強調の意味になる）。

日本語のこうした特徴は、主客が融合するベタなムラ社会でつくられてきた日本人の心性をよく表わしているのではないだろうか。

（橘玲『世界はなぜ地獄になるのか』より。ただし、一部改変してある。）

問一 傍線①・②・④のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線③・⑤・⑥の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問三 傍線(a)「マイナスになってしまったのだ」の説明として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 敬意を含んだ言葉が多用されているうちに、敬意がどんどんすり減ってしまった。
- イ 手当たり次第に尊敬語を使っていたら、誰が対象なのかわからなくなってしまった。
- ウ 敬意が込められた漢字を使っていたのに、漢字自体の意味が変わってしまった。
- エ 言葉に込められた敬意が減っていった、反対に罵倒する意味になってしまった。
- オ 敬意を含んだ言葉が次第に使われなくなり、死語のようになってしまった。

問四 傍線(b)「日本語ではその場の状況に合わせてさまざまな言い方がある」とあるが、その理由として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 日本社会では、相手を自分の分身のように感じているため。
- イ 対話者同士が、お互いの微妙な距離を調整するため。
- ウ 敬語の原理と文法的な規則は、もともと相反しているため。
- エ 使う言葉によって、身分の上下が決定されてしまうため。
- オ 相手との距離のとり方で、上下関係が決まってしまうため。

問五 傍線(c)「日本社会では自他の区別があいまいで、相手を自分の分身のように感じている」とあるが、このような社会を筆者はどのような言葉で表しているか、文章中から十四字で探し、記入しなさい。なお、句読点・記号も字数に数える。

問六 空欄（ 1 ）に最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア いいでしょうか
- イ いかがでしょうか
- ウ よろしかったでしょうか
- エ よかったでしょうか
- オ いかがだったでしょうか

問七 傍線(d)「正しい『進化』」とあるが、筆者がそのように述べる根拠は何か、最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア 相手に対してとる距離と敬意は比例すること。
- イ もともとの敬語が使われているうちに平凡化されること。
- ウ 相手に対する敬意を示すには過去形を使えばいいこと。
- エ もともとは敬語であっても敬意がすり減ってしまうこと。
- オ 目下の者が目上の者に使える言葉は限られていること。

問八 傍線(e)「敬語の民主化」の説明として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア すべてのひとに平等な敬語を使うこと。
- イ 相手に無礼だと感じさせない敬語を使うこと。
- ウ 誰を指しているのかわからない敬語を使うこと。
- エ 相手に親しさを示す敬語を使うこと。
- オ 相手との距離が近くなる敬語を使うこと。

問九 空欄（ 2 ）・（ 3 ）・（ 4 ）に入る語の組み合わせとして最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

- | | | | |
|---|---------------|---------------|---------------|
| ア | （ 2 ） 目を合わさない | （ 3 ） 目を合わさない | （ 4 ） 目を合わせる |
| イ | （ 2 ） 目を合わさない | （ 3 ） 目を合わせる | （ 4 ） 目を合わさない |
| ウ | （ 2 ） 目を合わせる | （ 3 ） 目を合わせる | （ 4 ） 目を合わさない |
| エ | （ 2 ） 目を合わせる | （ 3 ） 目を合わさない | （ 4 ） 目を合わさない |
| オ | （ 2 ） 目を合わさない | （ 3 ） 目を合わせる | （ 4 ） 目を合わせる |

問十 傍線(f)「ユダヤの神には名前がなく」とあるが、その理由として最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 神を名前で呼ぶと、親密度が高くなるから。

イ 神を名づけると、言葉によって神に触れるから。

ウ 神に直接語りかけることは不可能だから。

エ 神には謝罪の言葉を使うべきだから。

オ 神に物理的に触れることはタブーだから。

問十一 傍線(g)・(h)・(i)の品詞の組み合わせとして最も適するものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア (g) 形容詞 (h) 形容動詞 (i) 形容動詞

イ (g) 形容動詞 (h) 副詞 (i) 副詞

ウ (g) 副詞 (h) 形容詞 (i) 形容詞

エ (g) 形容詞 (h) 形容動詞 (i) 形容詞

オ (g) 形容動詞 (h) 形容動詞 (i) 副詞

問十二 本文中に挙げられている日本語の特徴として適さないものをア～オの中から一つ選び、その記号を記入しなさい。

ア 自分自身を罵る言葉が相手を罵る言葉になったという、かなり変わった言葉の使い方の変化を遂げた。

イ 一人称（わたし）がTPOに合わせて使い分けられ、ほとんどの会話が二人称（あなた）なしで成立する。

ウ 相手に対する敬意を示すための敬語が存在し、細かく分類すると尊敬語・謙譲語・丁寧語などに分けられる。

エ その場の状況に合わせて一人称、二人称にさまざまな言い方があるという、世界の言語の中で異形の進化を遂げた。

オ 身分の上下がつねに問題になり、ビジネス敬語においては会社の役職が人間としての尊さまでを反映している。

国語

解答用紙一

I

問十二	問十一	問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
										④	①
										⑤	②
									ゝ		
										って	
										⑥	③
									から。		

受験番号		★
------	--	---

国語

解答用紙二

〔Ⅱ〕

問十二	問十一	問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
										③	①
										⑤	②
										る	
										⑥	④

受験番号		★ ★
------	--	--------